



社団法人
長崎青年協会会章

我々は會員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設し
會員の親睦を図り
そして地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

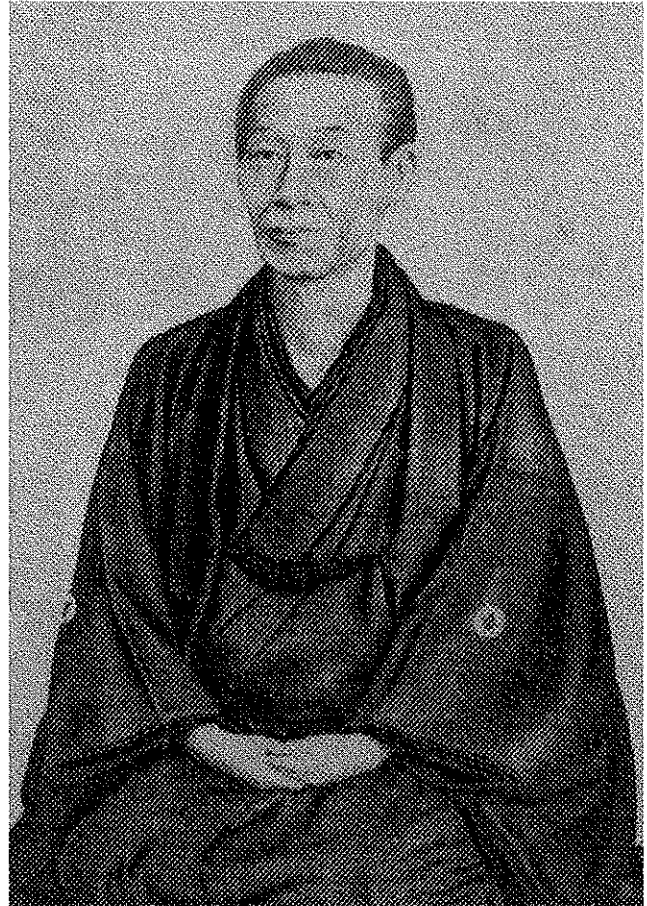
NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会

スローガン 本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう



大浦けい



小曾根乾道

今月の行事

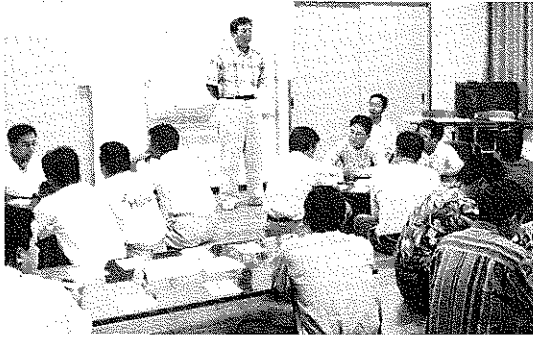
- | | |
|-----------|-----------------------|
| 10月 7日 | 20日 臨時総会
(次年度会長選挙) |
| 8日 おくんち広場 | |
| 9日 | |

NYA press no.184
October 1994

10

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 梶田啓伍
編集 広報委員 会
本報委員長 徳渡 卓

＜全体研修会＞



今年の全体研修は、9月17日(土)“長与町つどいの家”にて行なわれました。この“つどいの家”は、宿泊設備はもちろんの事、自炊ができる設備もあり、食器も備えてあります。

研修委員会の担当で行なわれた今年の全体研修は、予定より多少遅れてPM8時よりスタートしました。

現在、例会や事業に出席者が少ない状況の理由の1つとして事業の多さが問題とされています。そこでもう1度今の協会のあり方を直視し、会員同士率直な意見を発表する場として「今こそ語る青年協会」のテーマで討論しました。

議題は、「事業のあり方について」・「入会して得たもの」・「協会についての疑問点 今後のNYAをどうやっていくか」の3つがもうけられ、前半は、6～7人のグループ討議、後半は、中村君、船津君、合六君をパネラーとして全体討論の形で行なわれました。

平成6年9月17日(土)

於 長与町つどいの家

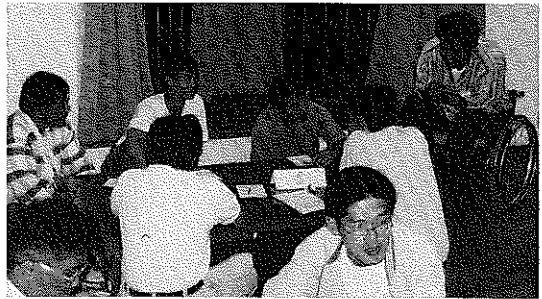
討議の内容は、「事業のあり方について」

- ・事業が多すぎる為、会員の参加意欲が薄くなる。
- ・1つの事業に対して、3年～5年のラインを引き、期間を過ぎると別の事業を行なう。これによって、1つの事業のマンネリ化を防ぐ。
- ・事業が、マニュアル化されてしまっている。新しい事業を考えるべきだ。
- ・会費だけで行なえる事業を試験的に、1年間行なってみる。

等、全体的に事業の多さに対する意見が、多かつたようです。そこで、「今後のNYAをどのように進めるか」と言う事においては、

- ・地域社会の発展に寄与する事が、先行しがちなので、もっと会員の親睦を基本とすべきだ。
- ・何をするにも理屈が先に立つので、昔にもどりもっと行動力の青年協会でありたい。

討論も夜おそくまで続きました。10月の例会においてもこの議題で行なわれました。



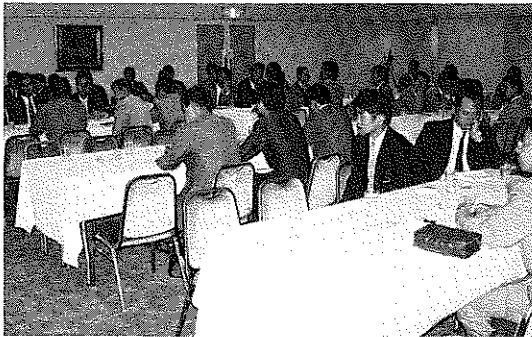
9月定時例会開催

平成6年9月21日(木)

於 ホテルニュー長崎

今月の例会は、本年度のスローガンであります「本気で語り実行し、そして新たな歴史を創りだそう」の趣旨のもとに、青年協会について語り合おうという題で行なわれました。

会長あいさつの後、まず最初に今年の新入会員



に青年協会に入って事業を経験してどんな感想を持ったのか聞きました。地域事業委員会の塩田大輔君、研修委員会の吉野忠幸君は、事業を体験した中で、先輩方と親しくなれ、多くの人に助けられ、忘れかけていたある種の感動を覚えることができ入会して大変良かったとのことでした。それに対して事業委員長の川原哲也君より先輩としてアドバイスがありました。

次に、先日総務委員会と会員開発委員会が共同で行ないましたアンケート調査にもとづきまして、3つの項目に関して意見を述べてもらいました。

「入会の年齢制限が35歳まで」に関して、国際開発委員会の河間幸弘君が、多くの会員と親睦を図るにはやはり5年以上は必要だと思うとのこと、同じく井上章君は、やる気があれば年齢は関係な

いのではないかとのこと、同じく山口丈司君は青年協会の本当の良さが判るには5年以上必要ではないか、また総務室長の和田正信君も2~3年は短いと思うとのことでした。

「事業に殆どでてこない会員に対してどう思うか」に関して、企画委員会の田中潤介君は、青年協会を通して会費で地域社会に寄与している。また会員開発の広瀬健司君は参加してくれることを期待しています。交流委員会の松尾浩君は自分には多くの友人に会えて良かった。参加すれば自分のためになると思います。企画調整室長の伊藤克樹君は、こない人には委員会のメンバーがもっと手をさしのべるべきだと思うとの意見でした。

最後に、最近事業に参加する人が少なくなっているが、「参加者を増やすためにはどうしたらよいか」について、企画委員会の渋谷晃君は、自分は家庭、仕事を考えながらそれでも事業を成功させたいからできるだけ参加したい。また同じ櫻井俊郎君は、事業を皆で成し遂げる喜びを体験すれば参加したくなる、ぜひ体験してもらいたい。総務委員会の城谷富好君は、それぞれの事業の意味合いを理解してもらって強く参加を促すべきだと思います。事業室長の合六忠君は、自己の建設と会員の親睦を図るためには、やはり自分からどんどん入りこんで参加すべきだとの力強い意見で本日の語ろう会は終了しました。



塩田大輔君



吉野忠幸君



川原哲也君



河間幸弘君



井上 章君



山口丈司君



和田正信君



田中潤介君



広瀬健司君



松尾 浩君



伊藤克樹君



渋谷 晃君



櫻井俊郎君



城谷富好君

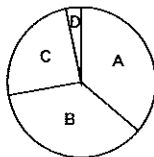


合六 忠君

アンケート調査結果速報!

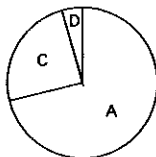
先日総務委員会と会員開発委員会が中心となっていきました。会員の青年協会に対するアンケートの集計結果が出ましたのでここに発表します。ただ紙面の都合上一部のみの発表とさせていただきます。この結果は今後の青年協会を考える上での参考にしたとのことでした。

年齢を35歳までという制限は



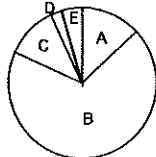
（単位：人）	
A-必要	31 (36.0%)
B-要らない	31 (36.0%)
C-どちらとも言えない	21 (24.4%)
D-その他	3 (3.5%)
合計	86

事業の回数をどう思いますか



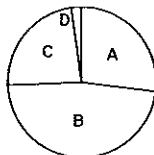
（単位：人）	
A-多い	61 (70.9%)
B-少ない	0 (0.0%)
C-適量	21 (24.4%)
D-その他	4 (4.7%)
合計	86

あなたは事業にどのように参加していますか



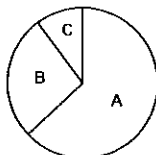
（単位：人）	
A-積極的に参加している	11 (12.8%)
B-出来る限り参加している	59 (68.6%)
C-あまり参加していない	10 (11.6%)
D-参加欲がわからない	2 (2.3%)
E-その他	4 (4.7%)
合計	86

推薦者の義務は新人紹介の妨げに



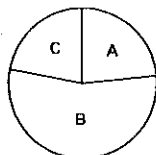
（単位：人）	
A-なる	23 (26.7%)
B-ならない	41 (47.7%)
C-どちらとも言えない	20 (23.3%)
D-その他	2 (2.3%)
合計	86

やめたいと思った事がありますか



（単位：人）	
A-ある	54 (62.8%)
B-ない	23 (26.7%)
C-その他	9 (10.5%)
合計	86

委員長になりたいと思うか



（単位：人）	
A-思う	20 (23.3%)
B-思わない	47 (54.7%)
C-その他	19 (22.1%)
合計	86

平成6年度 新人研修開催

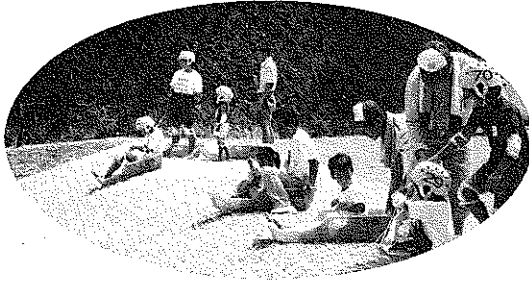
平成6年8月28日(日)
於：崎野自然公園



玉ネギの皮剥き風景

去る8月28日、平成6年度の新人研修が、時津町の崎野自然公園で行なわれました。今回の研修は家族懇親会が実施されました。残暑の中、朝10時から会員の家族が集まり、まず昼食のカレーライス作りから始まりました。親子でカレーの材料の玉ネギや人参・芋等の皮を剥いたり、御飯を炊いたり楽しく調理の準備をしていました。こうして用意されたカレーの具を鍋に入れて料理し味を付けるのは親の仕事で、その間子供達は、公園内で新人の用意した企画を楽しみました。最初は、公園内に有る草スキー場で草スキーをしました。

子供達はこの公園の草スキー用のソリに乗り20～30m位の長さの傾斜を壮快に滑っていました。親子で一緒に滑ったりもして子供達はとても楽し



草スキー場にて滑る!

そうでした。親の中には、自分の子供時代を思い出してか子供達以上に楽しんだ方も在りました。草スキーを満喫した後は、キャンプ場でゲームを行ないました。ゲーム内容は、紙テープで輪を作りその中に親子で又は子供通し2人で入り、その輪を切らないように各班毎にリレーをするものです。ゲームが始まると慣れないコンビネーションのせいか一周もしない内に紙テープを切ってしまうペアが続出、白熱するゲーム展開になりました。そしてゲームの後はお待ちかねの昼食です。一生懸命に作ったカレーライスを皆、待ちかねたとばかりに美味しそうに食べていました。



皆で記念撮影

屋外で家族で食べるカレーライスはとても美味でおかわりをする人も多数いました。食後は、風船割りゲームが行なわれました。ルールはスイカ割りと同様で子供達や大人達は大声で「右・左」と声援を送り誘導していました。ゲームに参加した子供達は景品を貰いとても嬉しそうでした。最後は皆で後片付けをして記念撮影をして研修を終了しました。皆、いい思い出が出来た様で満足そうに帰途についていました。新人の皆様、とても良い研修であったと思います。本当にお疲れさまでした。

ふうせんバレーボール 全国大会出場決定

来たる、11月6日(日)、北九州において、ふうせんバレーボールの全国大会が行なわれます。協会からも桑田会長、平田地域事業委員長をはじめ田川(俊)君、城谷君、櫻井君、梁瀬君、塩田君が、チーム名「長崎ばってん協会」で出場します。

当日、北九州にて応援できる方は、広報委員会の猿渡まで御連絡下さい。

選挙管理委員会発足

委員長	湯藤 正典
委員	池田 佳央
	河間 幸弘
	渡部 一夫
	西崎 達也

以上、選挙管理委員の発表を行ないます。
尚、会長立候補者は、10月1日より同月15日までに選挙管理委員会に届出を行って下さい。

選挙管理委員長 湯藤 正典

●ソフトボール大会に挑む強者達●

去る9月18日(日)、ソフトボール大会が、長与町ふれあい広場グラウンドで行なわれました。が、しかし開会式直後、土砂降りとなり大会は延期となりました。という訳で突如として各現役チーム監督へのインタビューです。(①チーム名由来 ②作戦③一言)

呑舞 チーム 監督 合六 忠君

- ① 呑舞(ドンマイ) エラーした時は Don't mind. 優勝したら呑んで舞う。この2つの要因をMIXしたもの。
- ② 攻守に申し分ない最良のチームだと思う。作戦? センターライン!
- ③ 最後の晴舞台、13年間抑圧された青春を一振りにて晴らしたい。

ビックリハウス チーム 監督 桑田 啓伍君

- ① 蓋を開けてビックリ+リックハウジングでビックリハウス。
- ② 体力を温存して、当日は監督の采配で優勝をねらう。
- ③ まだ一度も優勝した事がないので何とか勝って卒業して行きたい。

ファイバーパワフル チーム 監督 船津信三郎 君

- ① パチンコ名人の私が、一時かなり熱狂したパチンコの代表的な機種名より名付けました。
- ② まず出席率を確保しショートストップのこまめな「平田ゆうくん」を中心にしっかり守り、

打ち勝って行くつもりです。

- ③ 今回が初めての参加ですが、最後の年に監督となり、私自身力が入っています。

一膳 チーム 監督 森 保博君

- ① 一日一膳。一歩ずつ確実に進んで行きたい。
- ② ガッツあるのみ! 後は、渡辺孝孝キャプテンにおまかせ。
- ③ 2回も監督をする事ができて良かった。今年こそは優勝する。

ミラパルコ チーム 監督 中村 善人君

- ① キャプテンの進言により安易な気持ちで決めた。
- ② 監督自ら身体を鍛え、チーム名も強い名前に変更し、何が何でも優勝を目指します。
- ③ 協会での最後の事業になり、これで卒業という実感が有ります。私が参加する最後の事業になりますので、勝って第二の人生のスタートに弾みをつけたいと思います。



雨をながめながらの昼食

ネットワーク市民の会

9月26日、ネットワーク市民の会定例会が行なわれました。

この例会では、11月12日(土)、開催予定の「市民トップフォーラム」の企画の会議が行なわれました。今回でのトップフォーラムでは、「観光」を題材として、講演に矢太樓の村木社長をお招きし、会場を観光地にふさわしい東急ホテルで行なう予定です。

そして、パネラーとして、長崎に永住の方、又、長崎に来られて1年余りの方など長崎を内、外よりながめて私たちの長崎の街づくりを考えていきます。

その他には、去年は、飛帆に乗っての交流会でしたが、今年はトップフォーラム後に行なう予定、それと、来年に向けてのみなとまつりの件等、真剣な討論が行なわれました。協会からも、このトップフォーラムに多くの会員が参加すべきだと考え、後記に「ネットワーク市民の会」のメンバーを紹介します。今後、広報誌において各団体の紹介を行なう予定です。是非、御覧下さい。

長崎ネットワーク市民の会

基本姿勢

私達は街を愛し、その街に住む責任において、将来子供たちが誇りを持って生きていける街にするため、改めて自分たちの街を見つめ直し、より多くの人達と共に街づくりに取り組む時を迎えています。

「長崎ネットワーク市民の会」は目的の異なる団体の連絡の場として存在し当会が発展するためには常にどうあるべきかを問い直し、輪を広げ各団体が目指している「街づくり」、「人づくり」へと発展させていき、基本的には、「市民と行政が一体となった街づくり」を目指して、行動していきたいと思ひます。

団体名	代表者名	団体名	代表者名
旧長崎歴史帆船協会	会長 石橋克也	旧長崎青年協会	会長 桑田啓伍
オースカワ日本製鋼所製鋼	代表 目良公子	であいの会	会長 安達征治
亀山社中ばばかす会	会長 針尾武士	中通り青年会	会長 秋田重隆
大黒町青年会	会長 早輪隆史	賑町青年会	会長 黒瀬勝幸
長崎海洋少年団	会長 水谷 正	長崎幕末会	代表 川村隆男
長崎市商工会議所協議会	会長 峰	浜市観光通青年会	会長 林田光史
長崎市商工会議所青年部	会長 松田祥吾	浜市青年会	会長 本田時夫
新地青年会	会長 王 国英	長崎路面電車の会	会長 坪口満明
旧長崎青年会議所	理事長 鉄川 進	長崎和華館ステーション	代表 吉田光浩

赤ちゃん誕生おめでとう

パパ 松尾 浩君

ママ ^{コソタ}
松尾浩輔君 次男 第3子

H6.8.20 PM4:47生まれ

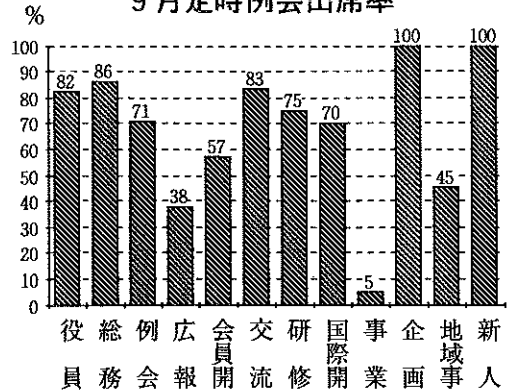
2週間遅れ

体重 3,760g

明るく大きく育ててほしい。



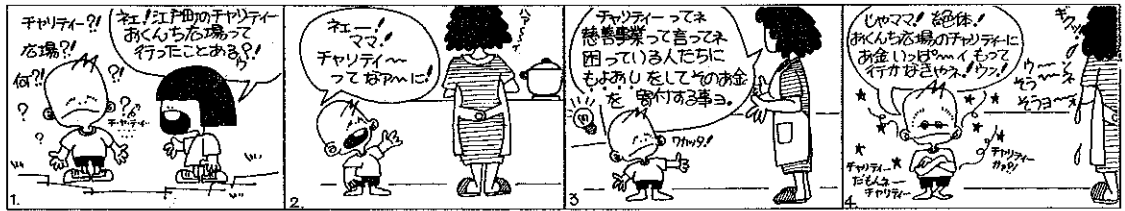
9月定例会出席率



あかBABY

「チャリティーの意味
—についての巻」

Of. Oshino



● 甞れ! 歴史人物100選 (表紙説明) ●

いよいよ10月、くんちの月、長崎っ子の血が騒ぐシーズンになりました。ということで、今月は長崎っ子(じげもん)の中から大浦けい(お慶)と、小曾根乾道の2人をご紹介します。共に同じ頃に生まれ、維新の志士達を支援したという共通点があります。

人物紹介

大浦けい (1828 文政11~1884 明治17)

天保の大火で類焼した大浦家の再興を茶貿易に賭、財を成した。大隈重信、松方正義をはじめ坂本龍馬率いる海援隊など維新の志士達を援助した。しかし、バコ取引でつまずき晩年は不遇であった。

小曾根乾道 (1828 文政11~1885 明治18)

出島埋築25商人の一人平戸道喜を祖とする六左衛門(浪の平海岸を埋め立てた)の子として生まれた。勝海舟、坂本龍馬らを保護し維新を影で支えた。また、書道、篆刻、明清楽など、文化面でも業績を残した。

ゆかりの地紹介

大浦けい宅跡

油屋町(西沢前); この地で生まれ家の再興のためお茶の貿易を始めたおけいがしのばれる。墓は、近くの清水寺にある。



小曾根邸跡

万才町(法務局敷地); 坂本龍馬をはじめとする多くの志士達がこの地をおとずれた。亀山社中の近藤長次郎が、切腹したのもここであった。

